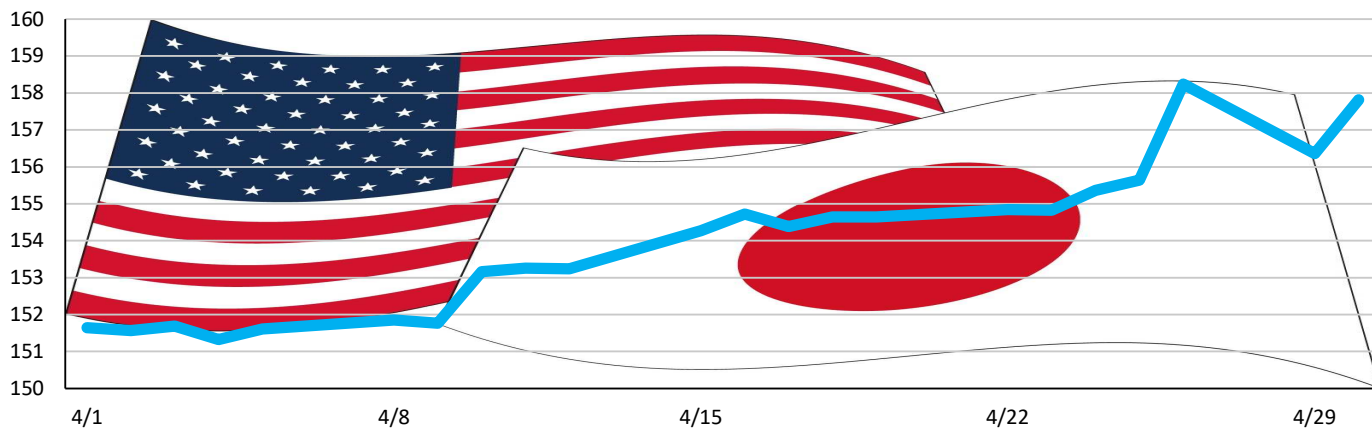


MONTHLY REPORT

先月の振り返り: 4月のドル円相場は150円後半～160円前半で推移。3月後半から持ち合い相場が続いていたが、米CPI(消費者物価指数)が市場予想を上回ったことで、早期利下げ観測が後退しドル買いが進行。しかし日本の要人から円安けん制発言が相次いで聞かれ、介入警戒感の高まりから155円を目前に売り買いが交錯。ただ米経済指標は軒並み市場予想を上回り根強いドル買い傾向の中、迎えた日銀金融政策決定会合では市場の予想通り政策金利据え置きと発表されたことや、植田日銀総裁が会見で円安容認と受け止められる発言などもあり円安が加速。その後も円安に歯止めがかからず34年ぶりの160円台に達したが、市場介入と思われる動きで154円台まで暴落。それでも日米金利差を背景とした円安ドル高の流れは変わらず157円台に反発した。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



MARKET REVIEW

金需要: 価格が高騰している金について需要面をみていきたい。戦争やテロなどの地政学リスクやインフレリスクなどを背景に安全資産として根強い需要の他にも、スマートフォンやパソコンなどの電子機器に金メッキが使用されており、電子機器の需要増加も後押しとなっている。さらに世界の中央銀行による金購入量が増加している点に注目したい。中央銀行の外貨準備に占める保有比率が高いのは基軸通貨である米ドルだが、新興国を中心に米ドルに大きく依存した外貨準備から脱却し、金を代替通貨として保有する動きが強まっている。各国中央銀行の金購入は長期の国益を見据えた動きであるため、今後も金需要の下支えとなってくるだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
5 / 23 (木)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
5 / 30 (木)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
6 / 6 (木)	21 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
6 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
6 / 12 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
6 / 13 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
6 / 14 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。